

平成28年度第3回印旛地区地域審議会 会議録

- 1 **開催日時** 平成29年3月13日（月）午前10時～11時20分
- 2 **開催場所** ふれあいセンターいんば 3階会議室1・2
- 3 **出席者** 石井 武雄会長、笠井 重夫委員、山本 昭信委員、本橋 昇委員、
櫻井 由紀子委員、小関 征二委員、片倉 恵美子委員、竹内 仁委員
- 4 **欠席者** なし
- 5 **事務局** 山崎企画財政部参事、吉岡主幹、清水主査、佐藤主査補
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **議事** （1）第6次実施計画について
- 8 **議事録（要点筆記）**

事務局： 本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。会議に先立ち報告をさせていただきます。

本日の出席委員についてですが、全委員ご出席でございますので定足数に達しており、会議が成立いたしますことを報告いたします。

次に会議の公開についてですが、会議は規定により公開とさせていただきます。本日の傍聴者はありません。

次に会議録の署名及び会議の録音についてですが、本日の会議の会議録署名委員は、笠井委員、本橋委員をお願いいたします。また、会議録を作成する関係上、会議は録音させていただきますのでご了承願います。

最後に、委員の委嘱についてですが、吉野委員におかれましては、民生委員児童委員協議会役員の改選により辞職されましたので、後任として2月9日付けで新たに櫻井委員を委嘱しております。

櫻井委員より一言ご挨拶をお願いいたします。

【櫻井委員挨拶】

ただいまから平成28年度第3回印旛地区地域審議会を開催いたします。
はじめに石井会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長挨拶】

それでは次第に従い、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、規定により石井会長に議長をお願いいたします。

議長： 議事（1）第6次実施計画について、事務局より説明願います。

事務局： 【資料1、2に基づき説明】

議長： 事務局の説明が終わりました。第6次実施計画についてご意見・ご質問を伺います。

片倉委員： 小中学校のパソコン177台の入替えとあったが、それ以外の小中学校も順次入れ替えるということか。

事務局： すでに各小中学校にパソコン教室があり、パソコンが配備されています。ソフトウェアのサポート終了等に合わせ計画的に入替えを行なっています。

片倉委員： 住みよさランキングで5年連続1位となっているが、印旛地区ではあまり住みよさは実感できない。市民満足度・重要度調査でニュータウン地区とそれ以外の地区の市民が感じていることの違いを調べてもらいたい。

事務局： 市民満足度・重要度調査は、概ね2年に1回、3,000人を無作為抽出してアンケート調査を実施しています。アンケートの回答は大字別で把握しており、報告書ではニュータウン内外別の分析を行っていますが、この分析結果についてどのように活用していくかが、課題となっています。

事務局： 住みよさランキングについては、都市力を数値化してランキングしているもので、ニュータウンの都市基盤や商業施設等が評価の対象となっていることから、市民の方の実感とランキングの結果が、必ずしも合致しているものとは認識しておりません。

市長が公式の場等で発言されておりますが、市としては、真に住みよいまちづくりを進めていきたいと考えており、特に既存地区の方にも住みよさを実感していただけるまちづくりが、今後目指すべきところであり、課題であると認識しております。

片倉委員： 窓口の休日実施にコンビニ交付サービスとあるが、平日もコンビニ交付サービスを使えるようにして、出張所を縮小する考えはないか。

事務局： コンビニ交付サービスにつきましては、市民の利便性向上のための事業です。現状の出張所の機能は継続させていただきます。

事務局： 実施計画事業名が窓口の休日実施となっておりますが、コンビニ交付サービスは平日も実施いたします。

本橋委員： コンビニ交付サービスで、証明書が発行されないなどのトラブルが時間外に発生した場合、市としてどのように対処するのか。

事務局： トラブルが発生した場合の対応については、担当課に確認し、回答します。

山本委員： 小倉台小学校や木刈中学校が大規模化している。校舎の増築や通学区域の変更は聞いているが、例えば隣接する白井市の学校に通学させることは考えていないのか。

事務局： 大規模校対策としては、学校適正規模・適正配置基本方針にあるとおり、基本的に増築等に対応することとしております。行政界を跨いでの通学は、実例としてはありますが、市で対応すべきものと考えております。

山本委員： ニュータウン地区は活性化しているが、既存の地区では店舗などが減り、衰退している。新たな事業には助成があるが、衰退している地区への援助があるとよい。

市内でも、既存地区と比べてニュータウン地区では関心が低いように感じる。統計上で3,000名の意見で住みよいと言われているが、実態は違うように思う。

印西市の中で、新地区と旧地区の交流がないということは問題があるように思うので、その辺を活性化できないか。

事務局： 市民満足度・重要度調査については、3,000人を対象としていますが、

この対象者数は、統計上、必要十分であると認識しております。

ニュータウン区域とそれ以外の区域の住みよさ、利便性の違いについては、印西市にとって、今後ますます重要な課題になってくると認識しております。

今後の市の大きな方向性の中でも、いかに市民の方が全ての地区で住みよさや市への愛着、誇りなどを感じられるかということが重要なテーマとなってくると考えております。

竹内委員： アンケートでは、交通の便について関心が高く、満足度が低かったと思う。市でも問題意識を持って、交通政策課を新設し力を入れていると思うが、今後、高齢者の免許証の返納が多くなり、公共交通機関に依存することが多くなる。また、ますます交流の機会を増やすというニーズが高まっていくなかで、市のコミュニティバスが大切になってくると思うが、交通政策課が新設されて以降、市内の交通状況がどのように改善されたか、またこれからの社会環境の変化やニーズの高まりを踏まえてどのようなことを考えているか。

本橋委員： 平賀学園台の住民から、印旛地区の外周部にふれあいバスの路線を増やして欲しいという意見が出ている。

平賀学園台から市役所に行くのに、京成酒々井駅から木下駅まで2時間かかるなど、不便が生じている現状がある。

コミュニティバスを使って交通網を整備しておかなければ、高齢化していったら衰退してしまう。改善していかなければ、合併した意味がなくなってしまう。自治会でそういった意見が多分に出ている。

高校に通学する場合、小林駅などJRの駅には沢山バスが出ているが、こちらの平賀地域の周りはコミュニティバスがないので路線バスを使うことになる。また、料金体系が違うので、通学費を考えた場合、格差が出ているので考えて欲しい。

事務局： 交通政策課では、交通不便地域でのアンケートの実施やデマンドバス等の研究をしているところです。ご意見については、担当課に申し伝えます。

本橋委員： 平賀小学校の信号機設置とその手前のカーブに標識を付けてほしいという陳情と通学時の大型車等の規制について陳情していたが、私が会長に変わって、6月に市民安全課に出向いところ、期限が無いからやっていませんと言われた。いつまでに回答するなど期限を決めてほしい

事務局： 対応が不適切であったと思います。担当課に確認いたします。

会長： 要望に対してどう対応しているということが返って来ないことがかなりある。内部で意思の統一を図って、自治会からの要望に対して、どうしているかということを返すべきだと思う。

事務局： 要望に対しては、どうしてできないかなどお知らせすべきだと思いますので、内部で調整したいと思います。

本橋委員： 山田平賀線の順天堂大学の田圃のところは補修回数が多い。印西警察署に聞いたところ、年間500台の大型車が通行許可を取っており、規制はできないと言っていた。予算の問題もあると思うが、アスファルトの厚みがかわ

っていない。対策がなされているのか。

事務局： 山田平賀線については、舗装の厚みを変える工事を実施するため、現在調査を実施しています。今後、舗装の改良工事を進めていくと聞いています。

本橋委員： 平賀学園台から京成佐倉に向かう「飯田橋」と成田台方に向かう「平方橋」が片側通行になっている。施工から50年近くたっている。掛け替えるなら対面通行ができるようにしてほしい。

また、橋の高さが高すぎて向こう側が見えないことも解消してほしい。

事務局： 担当課に申し伝えます。

山本委員： 印西を良くするには何が足りないかを考えると、北千葉道路が成田まで開通すると、地域的に良いところなので、印旛沼が見えるようなところに観光ができるような道の駅ができれば良いと思う。何かアピールできるものがあると良い。

12月に新旧住民のためのチャリティのカラオケ大会を実施し、福祉に役立つように寄附もしたが、高齢者の楽しみになるので市で補助してもよいのではないかと。新と旧の交流を是非考えていただきたい。

小関委員： 掲載終了事業に文化ホール改修事業と給食センター整備事業とあるが、具体的にどういう形で掲載終了になったのか。印旛公民館の建物を改修するという話を聞いたが、その計画はどうなっているか。

事務局： 給食センター整備事業につきましては、整備工事の完了に伴い掲載終了となっています。文化ホール改修事業につきましては、老朽化により改修を考えておりますが、多額の費用が掛かることや長期間の利用の制限等、調整をしなければならないことについて方針が決まっておきませんので、一度掲載を終了させていただき、方針が定まった段階で再度実施計画事業として掲載いたします。

印旛公民館の施設の改修については聞いておりません。

小関委員： 印旛公民館の体育館がアスベストの関係で取り壊され、駐車場になっているが、跡地を利用して改修する計画は、実施計画には掲載されないのか。

文化ホールは栄町や多古町、成田市のものとは比べ見劣りするが、今後（規模を変えるなど）計画はあるか。

事務局： 体育館の跡地利用については聞いておりません。

文化ホールについては、大きなコンサートをやるためには客席数が少ないとは思いますが、現在、別に造る等の計画はありません。

会長： 新規事業が4つしかないが、各課ではやりたいものはたくさんあると思う。予算の関係等で絞り込んだということか。

事務局： 全く新規の事業としては4つですが、拡充事業は多くあります。予算の関係で絞り込んだということではありません。

笠井委員： 鳥獣被害対策の炭酸ガスによる止めさしとはどのようなものか。電気ショックが市販されているようだが、使用したらどうか。

事務局： 箱のようなものに檻ごと入れ、炭酸ガスを充満させるというものです。

電気ショックについては、担当課に確認いたします。

会 長： 議事（１）第６次実施計画については以上とします。議事が終了しましたので進行を事務局にお返しします。

事 務 局： 石井会長有難うございました。

次第３その他

本埜地区地域審議会委員から要望のあった以下の２点について、事務局から情報提供

- ・イノシシの捕獲実績 資料 3
- ・学校適正規模・適正配置基本方針 資料 4

委員から出された意見

- ・印旛沼の観光資源として活用、印旛中央地区区画整理事業の進捗と見通しについて
- ・印旛沼周辺へ桜を企業が寄附する場合の受け入れについて

事 務 局： それでは以上をもちまして、平成２８年度第３回印旛地区地域審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第（Ａ４ １枚）

印旛地区地域審議会委員名簿

資料 1 第６次実施計画事業一覧（Ａ３ ６枚）

資料 2 第６次実施計画の概要（Ａ４ １枚）

資料 3 イノシシ捕獲実績（Ａ４ ２枚）

資料 4 学校適正規模・適正配置基本方針【概要版】（Ａ３ １枚）

平成28年度第3回印旛地区地域審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成29年4月21日

委員 笠井 重夫

委員 本橋 昇
